



「健康大国日本」の実現に向けたライフ・イノベーションの推進のために、各府省連携による効率的な取組が望まれていますこうした連携の一環として、厚生労働省から最近の研究成果をプレゼンテーションします。

7 障害者自立支援のためのBMI型環境制御システム

国立障害者リハビリテーションセンター研究所

最近の脳神経科学や関連技術の発展によって、脳からの信号を利用して機械を操作する「ブレイン・マシン・インターフェイス(BMI)」に関する研究が進んでいます。

厚生労働省では、障害者対策総合研究事業にて、「ブレイン・マシン・インターフェイス(BMI)による障害者自立支援機器の開発」を行っています。研究を実施している国立障害者リハビリテーションセンター研究所・脳機能系障害研究部脳神経科学研究室では、四肢麻痺の障害を持った方が脳からの信号でテレビや照明といった家電を操作したり、病気や障害で意思表示が難しい方が脳からの信号でワープロを入力したりするための「BMI型環境制御システム」の開発を進めています。

今回の展示では、障害者自立支援に向けた「BMI型環境制御システム」に関する研究を、これまでに開発したシステムや脳波計、脳波キャップ、電極などの実機の展示を交えてご紹介します。

